

タイム・トライアル・ロード・レース

# 篠原さん(茨城町)自転車日本一

「全日本選手権個人タイム・トライアル・ロード・レース大会」のU17(17歳未満)の部で、茨城町長岡の篠原輝利さん(16)が優勝を果たし、日本一に輝いた。世界最大の自転車レース「ツール・ド・フランス」で総合優勝を目指して、日本とフランスの2拠点で日々練習に励む。

同大会は6月27日に富士スピードウェイ(静岡県)で行われ、世界で活躍するレベルの日本人選手が競い合った。優勝者にはジャパンナショナルチャンピオンジャージが付与され、次大会までの1年間、着用品が義務付けられる。篠原さんは走行中、サドルが下がるなどのアクシデントに見舞われながらも、計14キロの道のりを19分20秒76で走り抜けた。「この大会のための帰国だった。次につながる重要な通過点」と振り返る。小6でロードバイクに出合

## 日仏拠点に世界一目指す

い、本場の雰囲気をつかもうと、中学卒業後、単身で渡仏した。現在は長野県を拠点に、フランスで若手選手育成を行うチーム「ボンシャンス」に所属。東京の通信制高校のカリキュラムを受講しながらフランス人コーチの指導の下、研さんを積んでいる。「全日制の高校に行きたいという気持ちもあったが、体が動くうちにやるべきだと思った」と決意を語った。

夢は自転車レースの最高峰「ツール・ド・フランス」の総合優勝。レースは23日間にわたって開かれ、合計約3300キロの距離を走行する。大会出場のためには優秀な戦績を残し、国際自転車競技連合(UCI)が格付けした「ワールドチーム」か「プロフェッショナルコンチネンタルチーム」に所属する必要がある。篠原さんは現在、格付けでは一番下のアマチュアカテゴリー。「道のりは長い。今は楽しむ気持ちを忘れず、最終目標に向けて何ができるかを考え、集中していきたい」と、冷静に将来を見据え、練習に励む。

全日本選手権個人タイム・トライアル・ロード・レース大会のU17で日本一に輝いた篠原輝利さん(左)茨城町長岡



20日から再び渡仏。大会に出場して経験を重ねる。「今の自分があるのは両親をはじめ、支えてくれる人のおかげ。結果で返していきたい」と前を向く。10月に帰国し、栃木県で開かれる「ジャパンカップサイクルロードレース」出場を予定する。(佐藤珠貴)